

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年12月17日更新

事務事業名		くまもと稼げる園芸産地育成対策事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	安武 栄一
	基本事業	31	生産基盤の確保			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本県単独補助事業で、熊本県産野菜等について、厳しい状況下で産地間競争に打ち勝つための、施設や機械、基盤整備等を支援し稼げる園芸産地を育成する事業。要件：補助率1/3 3戸以上の農家集団。 ハウスでのスイカやきゅうりの品質向上のための防虫ネットや自動換気装置を導入する。
【業務の流れ】	熊本県より5月下旬に内報受理、経営体より実施計画書を受付、その後、熊本県に実施計画書を提出し、内示→決定を受け6月補正予算確定後7月以降に工事着手予定。
【主な予算費目】	くまもと稼げる園芸産地育成対策事業
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	個人で取り組めるような補助事業はないか。また、募集の期間が短すぎるなど。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規	
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動) (DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
熊本県補助事業を利用してハウスに防虫ネットや自動換気装置を設置する。			
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 事業対象施設数	棟		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
補助事業申請者		→ ア: 合志市認定農家数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
機能性の高いビニールハウスですいかやきゅうりを生産できる		→ ア: 生産農業所得(認定農業者一人当たり)	円
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
補助対象が施設等関連になるため、整備率指標とした。			
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	棟			3	3				
	イ									
② 対象指標	ア	人			220	220				
	イ									
③ 成果指標	ア	円			0	0				
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円			630	556			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	(A) 事業費計	千円			630	556			
		(A)のうち指定経費	千円			0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0			
トータルコスト(A)+(B)	正規職員従事人数	人			1	1				
	延べ業務時間	時間			2	2				
	(B)人件費計	千円			0	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			630	556				

事務事業名	くまもと稼げる園芸産地育成対策事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 単年度だけの事業であり、成果向上は見込めない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助事業の為に削減余地なし
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助事業のため、削減余地なし
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>単県事業であり今後も事業申請者を募り、稼げる園芸を目指す。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						